

ろう者へH I V 啓発動画

筆談による対応も可能

映像監督・今村さん制作



動画を制作した今村さん

保健所や検査所は 筆談による対応もできますので

手話や字幕を使ったエイズ予防の啓発動画(今村さん提供)

予防法字幕・手話交え紹介

生まれつき耳が不自由な映像監督今村彩子さん(39)(名古屋市緑区)が、ろう者向けのエイズウイルス(HIV)・エイズ予防啓発動画を制作し、YouTubeや今村さんのホームページ(HP)に公開した。今村さんは「エイズは誰もがかかる可能性のある病気。耳の聞こえない人にも正しい知識や予防方法を伝えたい」と話している。(倉橋章)

厚生労働省によると、2017年に報告された国内でのHIV感染者・エイズの患者は1389人。1日当たり約4人が新たに報告されている計算となり、累計では約2万9000人になる。感染経路はともに異性・同性間の性的接触が最も多い。男女や国籍、地域別などの統計はあるが、ろう者など障害者の感染者数の統計はないという。

「エイズ予防の啓発動画があっても字幕や手話がついていないものがほとんどで、耳が聞こえない人たちは見ても内容を理解できない」と今村さん。ろう者でも、正しい知識と予防方法を理解できる啓発動画を作りたいと、今年7月から制作を始めた。

動画は約15分。聴覚障害がある長崎大学病院医師の吉田翔さんや名古屋医療センター臨床研究センター感染症研究室の今橋真弓室長らが、HIVとエイズの違いや感染経路、予防方法、HIV検査の紹介などを

幕と手話を交えて伝えている。また、20歳代でHIVに感染したろう者の体験談も収録している。

今村さんは「ろう者はコミュニケーションの壁があり、一般の相談窓口や電話相談が難しい。感染したことを周りに知られたくないので、手話通訳の依頼もできないケースがあると思う」と明かす。

現在、保健所や検査所では筆談での相談にも応じているといい、今村さんは「正しい知識と予防方法を知り、感染の疑いがある場合は早めに検査してほしい」と呼びかけている。

HIV/エイズ予防啓発動画(https://youtu.be/_vIFAnDXV6M)は今村さんのHPでも公開して

いる。また、制作費支援のクラウドファンディングも来年1月末まで受け付けている。問い合わせは今村さん(メールアドレス: ima_aya410@yahoo.co.jp)。